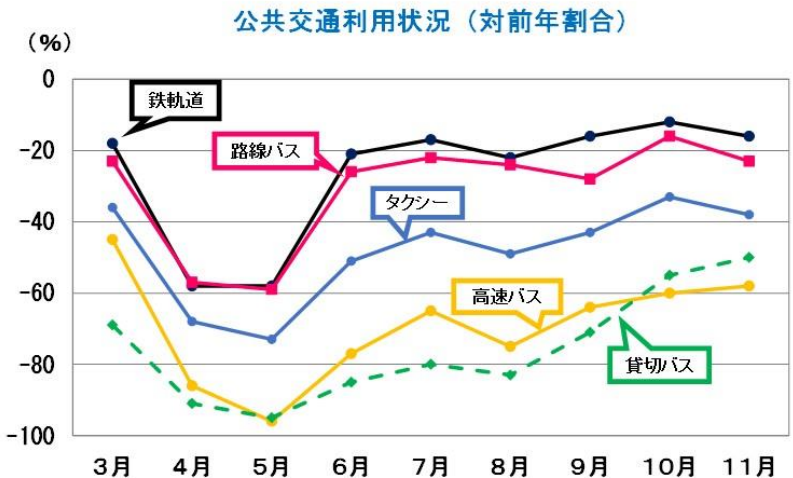


新型コロナによる公共交通への影響

国緊急事態宣言

4月7日
～5月25日

・外出の自粛や県立学校の臨時休校等の影響により、利用者が大きく減少



※ 鉄軌道は、あいの風とやま鉄道・富山地方鉄道・万葉線、路線・高速バスは、富山地方鉄道・加越能バスからの聞き取りに基づく各事業者の利用者減少率の平均。
貸切バスは県バス協会、タクシーは県タクシー協会からの聞き取りに基づく減収率。

タクシーへの緊急支援

- ・飛沫感染防止板の設置経費を支援（1台当たり8千円）
- ・中山間地域事業者の夜間緊急搬送等に備えた待機対応経費を支援（1日当たり2,500円）

○県予算額：600万円（4月補正）



飛沫感染防止間仕切り

タクシー・高速バス・貸切バスの事業継続支援

- ・観光やビジネス客の重要な交通手段となるタクシーや高速バス、貸切バス事業者の事業継続のため年間車両維持費の1/4（タクシー1台当たり5万円、高速・貸切バス1台当たり15万円）

○県予算額：1億2,000万円（9月補正）



公共交通事業者への支援

感染防止のための運行協力支援

- ・平日朝ラッシュ時（7時～9時、17時～19時）の運行経費の1/4を支援

○県予算額：1億1,700万円
（6月補正）



利用者が激減している中においても、感染拡大防止のため、3密の状態にならないよう運行本数を維持

地域公共交通の感染拡大防止対策支援

- ・駅等の衛生対策や感染症対策を行ったうえで、車内の密度を上げないよう配慮した実証運行経費の1/4を支援

○県予算額：1億2,300万円
（6月、11月補正）



車内の抗菌・抗ウイルス対策

★ 国の令和2年度第2次補正予算(138億円)
「地域公共交通感染症拡大防止対策事業」

- ・国が事業者へ直接補助（約1/2）
- ・県は補助裏分を上乗せして支援（約1/4）

公共交通機関の利用促進

- ・県民を対象とした県内公共交通機関が販売する複数市町村にまたがる観光列車やフリー乗車券を半額とするキャンペーン（6月19日～10月31日）の実施

○県予算額：1,000万円
（4月補正）



とやま1日乗り放題きっぷ